

2012(平成24)年度 法学既修者入学試験問題

商 法

(90分, 総点100点)

**試験開始の指示があるまで開かないこと**

**注意**

1. 問題冊子は、表紙をふくめて4ページで、問題は2問ある。
2. 解答用紙は1枚配布する。解答は解答用紙に記入し、解答の末尾には、「以上」と明記すること。また、用紙が不足した場合には、追加の用紙を配布するので、挙手して監督者に知らせること。
3. 下書き用紙として、白紙を1枚配布する。ただし、下書き用紙の提出は認めないので、必ず解答用紙に清書して提出すること。
4. 解答用紙への受験番号、氏名記入は、監督者の指示によること。また、「管理番号」欄は、大学側が使用するので受験生は記入しないこと。
5. 問題の内容に関する質問には、応じない。
6. 試験時間内の退場はできない。なお、試験中の発病等やむを得ない場合には、挙手により監督者に知らせ、その指示に従うこと。
7. 試験終了後は、監督者の指示があるまで、各自の席で待機すること。
8. 問題冊子及び下書き用紙は、各自で持ち帰ること。

## 第1問

委員会設置会社ではない甲株式会社（以下「甲社」という。）において株主総会が開催され、Aが取締役に選任された。さらに、その後開催された取締役会決議で、Aは代表取締役を選定された。以上を前提にして、下記の小問(1)および(2)に答えなさい。

- (1) Aが取締役に選任された株主総会に関して、招集通知もれがあったことが判明した。この株主総会決議の効力について、①招集通知もれの株主が少数の場合と、②招集通知もれの株主が全体の大部分にわたる場合とに分けて論じよ。 (25点)
- (2) 小問(1)で検討した株主総会決議の効力は、Aが甲社の代表取締役として乙と締結した契約の効力に、どのような影響を与えるかについて論じよ。 (25点)

## 第2問

委員会設置会社ではない甲株式会社（以下「甲社」という。）の取締役であったAが、在任中に取締役会の承認を得て甲社から金銭を借り入れたが、弁済期に返済しないまま取締役を退任してしまった。以上を前提に、下記の小問(1)および(2)に答えなさい。

- (1) 甲社は、金銭を借り入れた取締役A、甲社を代表してAに貸付をした代表取締役B、および、Aの借入れに関する取締役会の承認決議に賛成した取締役Cに対して、どのような請求をすることができるかを説明せよ。(25点)
  
- (2) 甲社の株主Dは、金銭を借り入れた取締役A、甲社を代表して貸付をした取締役B、および承認決議に賛成した取締役Cに対して、会社のためにどのように責任追及ができるかを説明せよ。(25点)

余白